

5月16日(月)

愛ある行い

聖書朗読 ヨハネ 15:9-17

もし互いの間に愛があるなら、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるのです。 ヨハネ 13:35

私は大学院生の時、フロリダからテネシーへ(約1,000km以上)通学していました。(訳注:アメリカの大学院では、毎日通学するのではなく、週末等に限って通学して授業を集中的に受ける制度があります。) 宿泊費用を抑えるために、なるべく知り合いの家に泊めて貰っていました。ある時、知り合いが皆不在で泊まる所が確保できないという時がありました。ところが、ある見ず知らずの学生が、私が泊まる場所を必要としていることに気付き、親切にも私に連絡をくれました。その学生自身は、旅行へ行くため不在だったのですが、私をその家に泊めてくれた上に、車も自由に使って良いとまで言ってくれました。しかもその当時、私たちはお互いに会ったこともまだなかったのです。何と寛大な愛ある行為でしょうか。

私がまだクリスチャンになりたての頃、(聖書にある)「人を愛しなさい」との命令は、私にとってとても難しい命令だと感じていました。なぜなら、「人を愛する」ということは、時間をたっぷりかけなくては実践できないことだと思っていたからです。ですから、「なぜ神様はそのような難しい命令をなさるのだろう」と思っていました。

もしかしたら、私たちが思い描いている愛と神様が命令された愛とでは、少し違うのかもしれませんが。例えば、私たちが愛と聞いてイメージするのは、夫婦・親子・親友間の愛ではないでしょうか。こうした愛は、確かに時間をかけて深められていく愛です。しかしながら、イエス様が仰る愛は、アガペーの愛(無条件の愛)であり、日々の生活の中で実践されるべき愛でもあります。つまり、(見ず知らずの学生が、私が宿泊場所を必要としていることを聞き知って、宿泊場所を提供してくれたように)助けを必要としている人がいることに気付いた時に、すぐに実践されるべき愛なのです。私たちが、イエス様をお手本としてアガペーの愛を少しでも実践していくとき、世の人々は、イエス様の愛に少しづつ気付かされていくのです。

讃美歌 II編26

祈り 天なるお父様、私たちが、周りの人たちの必要に気付き、愛ある行いが出来るようお導き下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

マイケル・A・オニール
フロリダ州タイタスビル

今日のカ

2022年5月16日~5月22日

翻訳 伊藤若菜

編集 相川忠義

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

5月17日(火)

喜びを見出す

聖書朗読 ヨハネ 16:16-24

わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあって平安を持つためです。あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。 ヨハネ 16:33

「私の兄弟たち。様々な試練に会うときは、それをこの上もない喜びと思いなさい」と、ヤコブ1:2では記されています。困難な日々の中、私たちは喜びを感じるようにとありますが、「それを実行するのは難しい」と感じていませんか？

イエス様は、「私たちが困難な中でも喜びを見出せる理由」を与えて下さいました。まず何よりも、イエス様はいつも私たち一人一人を気にかけて下さっています。そして、私たちには（イエス様の尊い犠牲を通して）永遠のいのちという希望が与えられており、私たちの将来は（御国に行けると言う）希望に満ちたものです。これは、根拠のない「あまり心配しないで、毎日楽しく過ごしましょう」といった考え方とは全く異なります。私たちを遥かに超えた大いなるお方（神様）が、私たちと共に居て下さり、導いて下さるという確信に基づく希望だからです。私たちは、私たちが最終的に行き着くところを知っており、それゆえ喜びを態度に示すことができるのです。

私たち夫婦がまだ若くて子ども達も小さかった頃、私たち家族はジェットコースターに乗るのが大好きでした。カーブにさしかかったり、下り坂や、早くカーブを曲がったり楽しかったです。今思うと、ジェットコースターの乗車は、人生や子育てと似ているようにも感じます。ジェットコースター乗車中は、思わず叫んでしまう時もありますが、最終的には安全にゴールにたどり着きます。ゴールでは、ホッと幸せな気持ちに包まれます。乗車中はヒヤヒヤしますが、私たちは安全なのです。

私たちは、人生において困難な時期を迎えることがあります。しかしイエス様は、「勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです」と言われます。イエス様が、私たちの人生の全てをご支配なさっているのです。そして、イエス様は私たちの幸せのために犠牲にさえなって下さいました。これは真実です。そんなイエス様が共にいて下さるので、私たちは喜びを覚えることが出来るのです。

讃美歌 298

祈り 天なるお父様、苦しい時には喜びを感じる事が難しい時もあります。そんな時でもあなたが共に居て下さることを思い起こさせて下さい。
イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

キャロル・ローズ
コロラド州プエブロ

5月18日(水)

天国での音楽

聖書朗読 ヨハネ 17:1-5

主は生きておられる。ほむべきかな。わが岩。あがむべきかな。わが救いの神。
詩篇 18:46

ベアトリス・ハリスンは、20世紀前半の著名なイギリス人チェリストでした。1924年、BBC（イギリスの放送局）は、ハリスンの庭での演奏会をラジオで生放送し、これは歴史に残る放送として現在でも語り継がれています。ハリスンの演奏が美しい音色を奏でたことは言うまでもありませんが、その放送で人々の記憶に最も残ったことは、庭にいた数羽のナイチンゲールが演奏に加わり、鳴き声でハリスンと共に音楽を奏でたことです。

その放送を聞いたリスナーたちから、数え切れないほどの反応がありました。このことによりハリスンは「ナイチンゲール・レディー」として知られるようになりました。BBCは、毎年春になるとハリスンの庭から同様の演奏会を十数年に渡って放送しました。ハリスンは50,000通を超える手紙をリスナーから受け取りました。

ヨハネ17章には、主イエスがお捧げになった、きわめて心のこもった、そして大変美しい祈りが記録されています。この主イエスの祈りの内容は、私たちの心を動かします。主イエスは、ご自身のために祈っているのではなく、私たちが守られ、そして私たちが一つとなれるよう、私たちのために祈って下さっています。そして、栄光が父なる神様にあるよう、祈っておられます。私たちも、私たちの生活の中でイエス様のように考え、祈りたいと思われたい。

イエス様が、ヨハネ17章にある祈りをお捧げになった時、きっと天の御国でも、（ナイチンゲールがハリスンと共に歌ったように）天使たちがイエス様の祈りに合わせて歌ったのではないかと、私は想像します。

讃美歌 310

祈り 神様、イエス様を通して、私たちに父なる神様の愛を教えて下さり、感謝します。あなたとの交わりをさらに深めることが出来ますよう、私たちの信仰を強めて下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ブルース・グリーン
アラバマ州オペリカ

5月19日 (木)

祈りの力

聖書朗読 ヨハネ 17:11-26

わたしは彼らにあなたのみことばを与えました。しかし、世は彼らを憎みました。わたしがこの世のものでないように、彼らもこの世のものではないからです。

ヨハネ 17:14

私たちは、マタイ6章の祈りを「主の祈り」と呼ぶことに慣れていますが、しかしイエス様は、ヨハネ17章全体に渡って他の祈りも捧げられています。イエス様は、弟子たちの許を間もなく去らなければならなかったため、残される弟子たちのために祈られました。イエス様は、間もなく父なる神様の御許に戻られるのですが、地上に残される弟子たちが守られるようお祈りして下さったのです。また、「弟子たちが神様によって守られていること」に弟子たちが気付くことが出来るよう、祈って下さいました。

イエス様による私たちのための祈りは、私たちにとって大いなる祝福であり、恵みです。ヨハネ17章のイエス様の祈りを注意深く読みますと、その祈りの言葉から、父なる神様とイエス様との交わりがいかに深いものであるかが窺われます。また、イエス様の優しさも溢れています。「彼らをお守り下さい・・・彼らが一つになるためです・・・私の喜びが彼らのうちに満ちあふれるためです・・・真理によって彼らを聖別して下さい」(11~17節より抜粋)。

イエス様は、弟子たちのために祈られただけでなく、(現代を生きる) 私たちのためにも祈って下さったと言えます。20節では「わたしは、ただこの人々のためだけでなく、彼らのことばによってわたしを信じる人々のためにも、お願いします」と祈られました。間もなくして、イエス様は天に昇られ、父なる神様の右の座に座られました。しかし、イエス様が捧げて下さった祈りにより、弟子たちは守られ導かれました。そして、今度は弟子たち互いに祈り合いました。彼らは、宣教旅行へ出る前に祈り合ったことでしょうか。或いは、迫害に遭い捕らえられ時には、牢獄の中でひざまずき、互いに祈ったかもしれません。私たちも、彼らのように互いに祈ることが出来るのではないのでしょうか。

讃美歌 312

祈り お父様、どうぞ私たちを悪からお守り下さい。あなたの御国の完成を、私たちは待ち望みます。

イエス様の御名を通して祈り致します。アーメン。

ケン・ショット
テキサス州ナッシュビル

5月20日 (金)

否認する者から告白する者へ

聖書朗読 ヨハネ 18:12-27

だれでも、イエスを神の御子と告白するならば、神はその人のうちにおられ、その人も神のうちにあります。 Iヨハネ 4:15

逮捕されて間もなく、イエス様は大祭司カヤパやユダヤ人当局の前に連れて行かれました。ユダヤ人指導者たちは、イエス様に、その教えの内容について問いました。イエス様は、ご自身が教えておられたことについて否定なさいませんでした。また、イエス様はいつも皆が集まる会堂や宮で教えておられて、隠れて話したことなどない、と言われました(ヨハネ18:20)。

その時ペテロは、カヤパの家の外で火に当たりながら暖まっていた。ペテロは、イエス様が逮捕されたことを知っていましたし、イエス様が逮捕された際にはイエス様を守ろうとしました。そして、カヤパの家までイエス様を追うようにして来ていたのでした。しかし、その場でイエス様について尋ねられたペテロは、3回もイエス様を否定してしまいました。イエス様が、ご自身の使命を果たされようとしていた正にその時、ペテロは主を否定していたのです。

そんなペテロでしたが、復活の主と出会ったペテロは、イエス様の愛、憐れみ、赦し、恵みを身をもって経験しました。そしてペテロは大きく変えられて、使徒2章に記されているように、エルサレムの人々の前で素晴らしい説教さえるようになりました。なお、そのペテロの説教により、何と3千人もの人々が救いへと導かれました。イエス様の愛、憐れみ、赦し、恵みは、それほどまでにペテロを変え、また私たちをも変えるのです。

讃美歌 243

祈り 親愛なるお父様、イエス様を与えて下さったことに感謝致します。私たちも、イエス様を宣べ伝えることが出来ますよう、助け導いて下さい。

イエス様の御名を通して祈り致します。アーメン。

マーシャ・D・ダウエル
テキサス州ヘロー

5月21日(土)

見せて伝える

聖書朗読 ヨハネ 20:19-23

もし互いの間に愛があるなら、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるのです。」
ヨハネ 13:35

我が家の子供たちが幼稚園児だった頃、毎週楽しみにしていたのは「見せて、伝える」の時間でした。これは、子どもたちが、自分が大切にしていることについて各自紹介して、クラスメイトに自分についてより深く知ってもらおうという時間でした。

本日の聖書朗読箇所では、イエス様は、ある意味「見せて、伝える」を洗練した形でなさったようにも見えます。まずイエス様は、手と脇腹をお見せになりました。弟子たちは喜び、イエス様ご自身であることを確信しました。そして、イエス様が自分たちのために十字架上で自らを捧げて下さり、そして復活されたことを知ることが出来ました。

しかしながら、これで終わりではありません。弟子たちは、イエス様がして下さったことを理解しただけではありませんでした。イエス様は、復活したご自身をお示しになっただけでなく、弟子たちに使命をもお与えになりました。ちょうど父なる神様がイエス様を世にお遣わしになったように、イエス様は弟子たちを福音宣教のためにお遣わしになったのです。つまり、弟子たちがイエス様の愛で人々に接し、主イエスを宣べ伝えるよう、弟子たちを遣わされたのです。

私たちに神様からの使命が与えられる時、私たちの生活は、喜びと平安で溢れたものとなります。

*キリストが私たちの内に住み、私たちの人格を支配しているなら、
私たちは私たちが出遭う人々の心に輝かしい光を残します
私たちから出る光ではなく、光であられるキリストが照らして下さる光です
—ユージーニア・プライス*

讃美歌 533

祈り 親愛なるお父様、喜びと平安がある生活を与えて下さったことに感謝致します。イエス様の光を映す者として歩むことが出来ますよう、助け導いて下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ナンシー・ベーカー
テキサス州アビリン

5月22日(日)

確かな信仰

聖書朗読 ヨハネ 20:24-31

キリストのうちにこそ、神の満ち満ちたご性質が形をとって宿っています。
コロサイ 2:9

私たちがある事柄に対して「これは確かに真実だ」と言えるのは、どのような場合でしょうか。インターネットをはじめ、たくさんの情報が溢れる現代において、誤った情報も溢れています。医師の診断を受けた後には、診断結果を知る必要がありますが、私たちはより正しい診断結果を知りたいと願います。ほかにも、生活の様々な場面で、私たちはより正しい情報を求め続けます。ある意味、私たちは真実を探求し続けているのであり、そのことは信仰生活でも同じだと思います。

本日の聖書朗読箇所では、「トマスの信仰生活上の重要な局面」が書かれていると思います。トマスは「何を信じればよいのか？」と迷っていたのではないのでしょうか。仲間の弟子たちは、イエス様が生きておられると主張しています。しかし、(普通に考えたら)十字架に掛られたイエス様が生きていたと言うようなことがあり得るのでしょうか? 十字架の後、主は確かに埋葬もされました。「主が生きておられるなどとは考えられない」とトマスは考えざるを得なかったのでしょう。

「自分の目で確かめないと信じられない」とトマスは主張しました。それに対し、復活されたイエス様は、トマスに自らを現わして下さいました。そしてトマスは、復活されたイエス様を実際に見て、トマスの信仰は確かなものとなりました。こうして、トマスは主を「私の主、私の神」(28節)と告白しました。

私たちも、主イエスを「私の主、私の神」と告白できるよう、みことばに耳を傾け、聖書が伝えている真理を求め続けましょう。聖書のみことばは、私たちを確かな信仰へと導きます。

讃美歌 148

祈り お父様、イエス様の復活により、私たちに希望と信仰が与えられていることを感謝します。イエス様を通してなされた素晴らしい御業に感謝いたします。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ラリー・ケイン
テキサス州ハイランドヴィレッジ